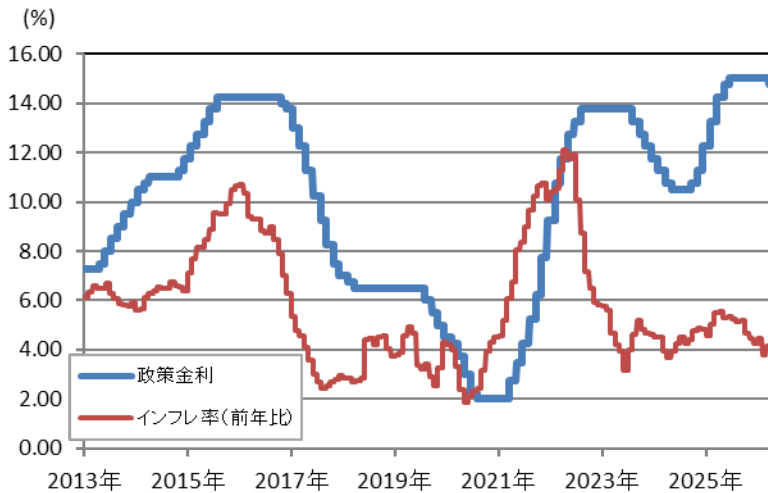


## ブラジルの政策金利の引き下げについて

2026年4月29日（現地時間）、ブラジル中央銀行はCOPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を0.25%引き下げ、年率14.50%とすることを決定しました。前回3月18日に続き、2会合連続での利下げとなりました。

米国とイスラエルによるイラン攻撃とイランの報復措置を受けて中東情勢が悪化し、紛争の期間や影響を見通すことが難しいなか、今回の中銀の声明では、エネルギー価格の高騰を背景にインフレ圧力が強まることへの警戒感を示した一方で、不確実性の高まりから世界経済および国内経済が減速する可能性についても言及しました。また、物価安定という目的を損なうことなく景気の変動を平滑化する観点から、金融政策の調整サイクルを進めることが適切と判断したと説明しました。今後に関しては、中東での紛争が経済に及ぼす影響を注視する姿勢が示されたものの、前回と同様、政策金利の先行きについては、明確なガイダンスが示されませんでした。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移  
 (2013年1月1日～2026年4月29日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2025年6月18日	15.00	0.25
2025年7月30日	15.00	0.00
2025年9月17日	15.00	0.00
2025年11月5日	15.00	0.00
2025年12月10日	15.00	0.00
2026年1月28日	15.00	0.00
2026年3月18日	14.75	-0.25
2026年4月29日	14.50	-0.25

\* 政策金利は Selic、インフレ率は拡大消費者物価指数 (IPCA) を使用。  
 \* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータよりBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

### 本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。